

ミニ探究活動「身近な地域における SDGs」学習指導（活動）案

【実践者】

氏名 齋藤 千晶

学校名 北海道滝川西高等学校

学年（人数）2年D・E・F組(各 40名)

実施教科（領域）総合的な探究の時間

【関連する SDGs】（11、12、15、17）



【実施概要】

1. 単元名(活動名)：身近な地域における SDGs
2. 単元の目標： <ul style="list-style-type: none"> 下川町の森林産業の例をもとに、地球環境・経済・社会のつながりやバランスについて共感的に理解するとともに、地域の資源を生かして課題を解決しようとする視点を養う。 自らが地域の一員として、持続可能な地元の街づくりについて考え、環境に配慮した実践や、環境に配慮しつつも経済や社会の発展となるような取り組みについて考え、発表する。

3. 単元計画（全5時間）			
時	ねらい	学習活動	資料など
1 2	<ul style="list-style-type: none"> 下川町での取り組みについて知り、SDGs とのつながりやバランスを取る重要性について考え、理解する。 地域の資源を生かして課題を解決する視点を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 下川町での取り組みについて「割り箸」を軸に学ぶ。 環境、経済、社会などの多様な視点をもとにロールプレイングを行う。 地元である滝川市ではどのような実践ができるのか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 割り箸 下川町に関する写真やインタビュー資料 ロールプレイング用役割カード 結論記入シート
3 4 5	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な地元の街づくりについて考え、主体的に行動に移していくための視点を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> グループで、滝川の「課題」と「資源」をあげ、それをもとに、課題を解決するための取り組みを「環境への配慮」、もしくは「環境、経済、社会のバランス」をキーワードに考え、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡易ホワイトボード マジック 付箋4色 SDGs ロゴカード

4. 本時の展開（1・2/5）
<p>本時のねらい：</p> <ul style="list-style-type: none"> 下川町での取り組みについて知り、SDGs とのつながりや環境・経済・社会のバランスを取る重要性について考え、理解する。 グループでの話し合いやロールプレイングに意欲的、主体的に参加し、違った立場の考えについて共感的に理解を深めるとともに、批判的に物事を考え、議論する力を養う。 地元の資源を生かして課題を解決する視点を身に付ける。

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
<p>導入 (25分)</p> <p>展開① (25分)</p> <p>展開② (15分)</p> <p>発表・まとめ (35分)</p>	<p>1. 身近なことから想起する。(5分) 毎日の生活の中で、SDGsを意識した取り組みをしているか考えさせる。 ・マイバッグ、節電、節水、など ※マイ箸、割り箸の話が出なければ、箸の実物を提示し気付かせる。</p> <p>2. 下川町での取り組みについて知る。(20分) 生協でもらえる割り箸の記載から、下川町での森林産業、木材加工におけるゼロエミッション、バイオビレッジなどの取り組みを紹介する。</p> <p>3. ロールプレイング<前半>で、さまざまな立場の存在を実感する。(25分) ①ロールプレイのやり方や、各役割について説明する。 ②グループと役割を決める。 ③アイスブレイクとして、役になりきった状態の生徒(数人)に簡単な質問をし、役になりきっているか確認をする。 ④グループで、ある飲食店の箸の購入に関わる話し合いを模し、それぞれの主張を発表する。 ⑤箸を購入する役である飲食店店主が、どの箸にしようとしているか現時点での考えをグループ内で発表する。</p> <p>4. ロールプレイング<後半>で、さまざまな立場の存在を実感する。(15分) ①役割ごとに作戦会議を行い、各グループでの話し合いの状況を共有し、自分たちの役割の主張がどうすれば認められるか相談する。 ②再びグループに戻り、主張を伝え合う。</p> <p>5. それぞれのグループでの話し合い結果を発表する。(20分) 最終的に、飲食店店主がどのような結論を出したか、順番に発表する。 また、それぞれの役で迷ったことや困ったことなどを全体でシェアする。</p> <p>6. 地元滝川の街づくりについて考える。(15分) ①ロールプレイで出てきたそれぞれの立場が、SDGsで言うところのテーマに結びつ</p>	<p>・生徒に自ら考えさせるように質問の仕方を工夫する。</p> <p>・地域の資源を工夫しながら有効に活用し、街づくりに成功しているという点に重点を置いて説明する。</p> <p>・燃料炭について、安価な輸入ものが増えたことにより製造を中止している現状にも触れる。</p> <p>・役割はくじ引きで決める。</p> <p>・しっかりと役になりきって考えたり議論したりできるような雰囲気をつくる。</p> <p>・批判的な思考を大切に、活発な議論ができるよう助言する。</p> <p>・どの主張も、それぞれの立場から見ると間違っていないことに気付かせる。</p>	<p>・17のSDGsカードを提示する。</p> <p>・割り箸(生協でもらってきたもの)</p> <p>・写真(下川町全体のもの、木材による色々な製品例、森林経営を体験する中学生など)</p>  <p>・下川町森林組合工場長 石原さんへのインタビューでのお話内容メモ</p> <p>【資料1】</p> <p>・役割カード【資料2】 A: 飲食店店主(司会役) B: 中国の割り箸製造会社の社員 C: 日本の割り箸製造会社の社員 D: 飲食店店主の兄 or 姉 (割り箸使用に反対) E: 飲食店店主の親戚(日本の伝統的食文化の研究者、割り箸文化の大切さを説く)</p> <p>・結論記入シート【資料3】</p>

○改善点

授業実践にあたっては、ロールプレイングの結果出される結論がそれぞれのグループで異なること、さらに結論に偏りが見られることも想定される（当該クラスでは、「Cさん」が強いと見ていた授業者の予想に反し「Bさん」（中国産割り箸）の圧勝となった。他の2クラスではごみ削減の観点から「Dさん」（プラスチック製割り箸）が強い結果となった。）が、ロールプレイング終了後、その結果や議論の内容を受けつまとめに入る場面での教師の話のもっていきかたについて、あらかじめいくつかの結果のシミュレーションをし、準備しておくべきだった（指導案6.③の部分）。

○成果が出た点

ロールプレイングの活動に生徒たちが積極的に取り組み、役になりきって白熱した議論が行われたことで、自分の考えと異なる主張をする葛藤や、思い通りの結果にならなかった難しさを感じたという内容が発表の場で共有された。結論が「中国産の安い割り箸」に偏ったことで、結果的には実社会で環境と経済のバランスを取って開発していくこと、またそれが広く支持されるようにすることの難しさをクラスで体感、共有することができたと感じる。

また、続く3～5時での「持続可能な地元の街づくり」に関し、最後の発表においては、菜の花など地元の名物を活用した柔軟なアイデアが数々出され、生徒たち自身が生き生きと互いに質疑応答を行う活気ある場面が見られた。この授業をきっかけに地元の資源を認識し、街づくりについて考え、今後主体的に行動に移していくための視点を養うという今回の目標はまずまず達成できたと感じている。

○学びの軌跡（生徒の反応、感想文、作文、ノートなど）



「持続可能な地元の街づくり」についてのグループ発表の様子

[授業終了時のワークシートより（感想）]

- ・身近にあるものでも SDGs につながるものがあることに気づけたので、これからも意外なものが役立つのではと考えて過ごしたいと思った。
- ・自然のことばかり考えていたが、町おこしも SDGs のれっきとした課題なので、視野に入りたい。
- ・SDGs と滝川をからめるのが難しかった。
- ・若者の考えが世界を変えるかもしれない。アイデアを出すことの大切さ、口から行動にうつすことの大切さを学んだ。
- ・今まで漠然と学んできた SDGs を、地域として考えることでより身近に感じる事ができて考えを深めることができた。産業の利益ばかりを考えて、環境のことをないがしろにしないように意識したいと思った。地域のためを思って考えることで、より大切に感じる事ができたし、これからも資源をなくしてはいけないと思った。

○授業者による自由記述

本授業の実践・指導案作成を振り返り、まずは JICA 北海道スタッフの皆さんによる念入りな現地取材・事前インタビューはもちろん、「下川町セット」(下川町産のおが粉、枝葉など)の参加者自宅への郵送など、今回のオンライン研修が有意義に行えるよう周到に準備してくださったことに改めて感謝します。また、研修を通じて知り合った、下川町の麻生様、本間様をはじめ、道内各地で素晴らしい取り組みをされている多くの方と実際にお話しすることができ、様々な視点による考えを知り、生徒へ還元するためのアイデアやアドバイスを頂きました。このかけがえのない出会いに感謝します。

最後になりますが、授業作りのアイデア提供から指導案作成、授業実践の各局面で貴重なアドバイスをくださいましたアドバイザーの堀 幸美先生、そして一緒に研修を受けた5名の熱心で素敵な先生方との出会いに、心から感謝します。ありがとうございました。

【資料 1】 下川町森林組合 工場長 石原良彦様へのインタビューでのお話 内容メモ

○下川町森林組合 北町工場について

工場は今から 35 年以上前からやっている。湿雪被害のあと、傷んでしまった木々をどう処理するか・・・という問題が発生し、傷んだ木々（カラマツ）を木炭にするための工場を作った。

木炭づくりは、当初はうまくいかず、試行錯誤の連続だった。試行錯誤の末に確立された製炭の技術が継承され、現在も 4 基の窯を使って炭づくりを続けている。

○生産している製品について

燃料炭は主に B B Q 等での利用や、水の浄化等に使われる。

最近は、カセットコンロの普及や、外国産の輸入による国産原料炭の需要の低下から採算が合わず、現在は生産をストップしている（粉碎炭は引き続き生産中）。生産能力的にもコスト的にも、東南アジアのものに負けてしまう。輸入ものは 3 kg で 300～400 円で購入できるが、私たちは、カラマツの貴重な原料を生かした炭を作っており、輸入物と比べると 1.5 倍高い値段となってしまう。

粉碎炭は、燃料炭にならないもの（木の、良くない部分）を粉碎機にかけて作る。主に住宅の床下の調湿剤として本州で需要がある。

【資料2】

<役割カード>

A：飲食店店主（司会）・田中さん…32歳

私は、このたび地元で飲食店を立ち上げることにしました。しかし、資金に余裕はなく、ぎりぎりの状態です。開店にかかるコストは、できるだけ抑えたいです。

今日は、開業にあたり様々な準備を進めるなかで、お客様に使ってもらう箸を選ぶために、二社の割り箸業者さんに来てもらいました。

また、つねづね割り箸に反対している私の兄(or 姉)も同席すると言ってきたので、話に参加します。あと、たまたま遊びに来ている、親戚で大学教授の宮澤さんにも同席してもらいます。

みなさんの話を聞いて、箸をどうしようか考えたいと思っています。よろしくお願ひします。

(※どんな飲食店にしたいのか、これからどんな風に宣伝していこうか、などは、役になりきったうえで色々と想像を膨らませて、考えてみること。)

<役割カード>

B：中国の割り箸製造会社の社員・チェンさん…45歳

私は、中国の大手の割り箸製造会社で働いています。

さっそくですが、私たちが作っている箸の売りは、なんとと言っても安さです。経費を日本製の6割程度にまで抑えて出荷できます。私の国では木材の価格自体が日本と比べ物にならないくらい安いからです。ですので、原木を一本すべて割り箸に加工して売ること
で、十分な利益を得ることができます。

木を割り箸のために大量に切っていることが森林破壊につながっているという批判があるのを知っていますが、正直な話、うちの会社一つが木を切るのをやめたって、他の会社がやめなければ意味がないと思っていますし、将来の地球環境を守ることと、今の自分や家族の生活と、どちらが大事かと言われれば、それは後者に決まっています。

<役割カード>

C：日本の割り箸会社の社員・中川さん…44歳

私は、森林産業で有名な町から来ました。

私たちの町では、計画的に植樹をして林業をしていますし、割り箸には間伐材を使っています。持続可能な地球環境のために、これからもさらに事業を発展させていきたいと思っています。

ただ、今の悩みは、割り箸製造のためのコストが年々上昇し、値段の安い輸入物の割り箸に押され気味なことです。

間伐材の伐採にあたっては、周りに生えている木々を傷つけないよう時間をかけた搬出作業が必要ですし、伐採で使用するチェーンソーの燃料代や、その後の運搬にかかる費用も、ガソリン価格の高騰によりなかなか削減が難しいのです。

なんとか輸入品と対等に競い合って、もう少し国内でのシェアを拡大できれば良いのですが……。値段だけにとらわれずに、環境のことも考えて商品を選んでくれる人が増えてくれることを願っています。

<役割カード>

D：飲食店店主の兄 or 姉・守林（もりばやし）さん…35歳

私はそもそも割り箸というものに反対です。使い捨ての文化を象徴するものですし、使い終わったあとに燃やすことで温暖化の原因にもなっていますし。

だから私は、コンビニやスーパーでも割り箸はもらいませんし、外出先にもマイ箸を持ち歩くようにしています。

飲食店をやっていくなら、そんな大量にごみを出す割り箸じゃなくて、プラスチック製でも良いから、長く大切に繰り返し使えるものにすべきです。コストだって長い目で見ればそっちの方が安いはずですよ。

って、前から田中には言っているんですけど。

田中は、洗う手間のことも考えて、割り箸にしようとしていますけど、思い直してほしいと思います。

<役割カード>

F：飲食店店主の親戚・宮澤さん…57歳

私は普段は大学で教えながら、日本の伝統的食文化の研究をしています。割り箸ってのは、そもそもは木材の余った部分を有効に使うと作られたもので、ものを大切に使う日本ならではの文化だと思っています。

また、日本では古くから、おもてなしとして、「お客様の口に入るものは常に新しいものを」、という考えがあります。「いただきます」と言ってパチンと”割り箸”を割る、あの風景は、日本人として未来までずっと大切にしていきたいと私は思います。

ロールプレイングを終えて

☆下川町での取り組みについて、SDGs とのつながりや、環境・経済・社会のバランスを取る重要性について理解できましたか。(いずれかに○、以下同じ)

よくできた ・ まあまあできた ・ あまりできなかった ・ 全くできなかった

☆グループでの話し合いやロールプレイングに意欲的、主体的に参加できましたか。

よくできた ・ まあまあできた ・ あまりできなかった ・ 全くできなかった

☆違った立場の考えについて共感したり、批判したり、議論することができましたか。

よくできた ・ まあまあできた ・ あまりできなかった ・ 全くできなかった

☆「地元の資源を生かして、地元の課題を解決する」という視点を、今後に生かすことができそうですか。

よくできた ・ まあまあできた ・ あまりできなかった ・ 全くできなかった

☆その他（特記事項、感想など）

ロールプレイングを終えて<田中さん以外の人用>

(役名： _____ 本名： 2年 組 _____)

☆今回、役を演じてみて、共感できた点を記入してください。

☆反対に、役を演じるうえで戸惑ったり、困ったりした点があれば記入してください。

☆下川町での取り組みについて、SDGs とのつながりや、環境・経済・社会のバランスを取る重要性について理解できましたか。(いずれかに○、以下同じ)

よくできた ・ まあまあできた ・ あまりできなかった ・ 全くできなかった

☆グループでの話し合いやロールプレイングに意欲的、主体的に参加できましたか。

よくできた ・ まあまあできた ・ あまりできなかった ・ 全くできなかった

☆違った立場の考えについて共感したり、批判したり、議論することができましたか。

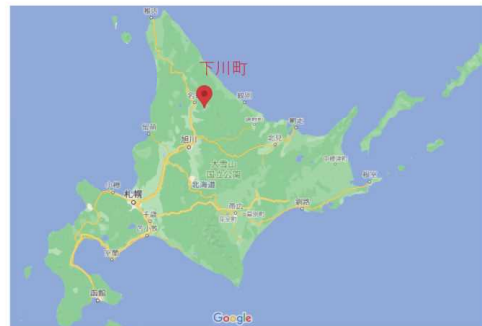
よくできた ・ まあまあできた ・ あまりできなかった ・ 全くできなかった

☆「地元の資源を生かして、地域の課題を解決する」という視点を、今後に生かすことができそうですか。

よくできた ・ まあまあできた ・ あまりできなかった ・ 全くできなかった

☆その他 (特記事項、感想など)

Q.あなたは毎日の生活の中で、何かSDGsを意識した行動をしていますか？





写真提供：NPO法人 森の生活



写真提供：NPO法人 森の生活

※人工林の風景



写真提供：NPO法人 森の生活

※木材加工の途中の様子①



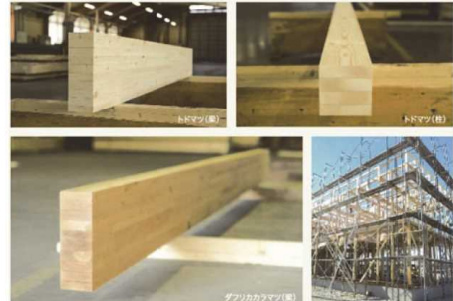
写真提供：NPO法人 森の生活

※木材加工の途中の様子②



写真提供：NPO法人 森の生活

※出来上がった建築用木材



写真提供：NPO法人 森の生活

※出来上がった家具



写真提供：NPO法人 森の生活

※出来上がった木炭 ☆最近は安価な輸入ものに押されているという現状も・・・



写真提供：NPO法人 森の生活

※出来上がった粉炭



写真提供：NPO法人 森の生活

※枝葉から作られるアロマオイル



写真提供：NPO法人 森の生活

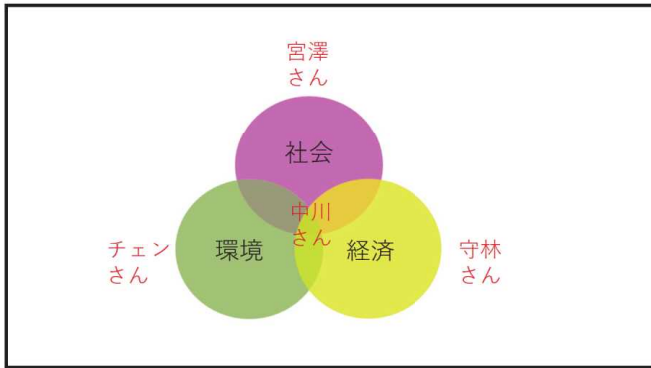


余すことなく素材を使い、
廃棄物を排出しない
=“ゼロエミッション”

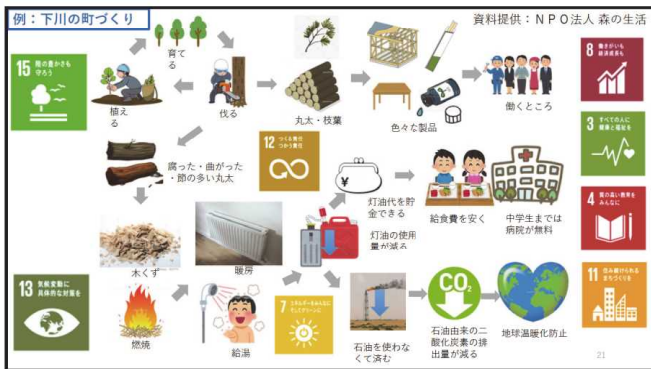
今回登場した人たちの考えとSDGsとの関連を考
てみよう！

- チェンさん
- 中川さん
- 守林さん
- 宮澤さん
- 田中さん





様々な立場や視点があることを踏まえながら、
地元の資源を活用した街づくり
 のアイデアを考えてみよう。



☆様々な立場や視点があることを踏まえながら、
地元の資源を活用した街づくりをする
 アイディアを考えてみよう。

- ・次回までに、**地元の資源**について個人で考えてくる。
- ・**地元にはどのような課題**があるのかについても考えてくる。

地元の名物は何かな？

どんなものが“地産地消”できるかな？

地元には何が足りないかな？

もっとどうなれば魅力的かな？